



# GOVERNOR's Monthly Letter

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信

May 2021  
No. 11

# 5

## ガバナー 野生司 義光

### 父 / 建築家・野生司義章のこと、私のこと

今年のガバナー月信1月号で、私の祖父、野生司香雪のインド/サルナートでの壁画のことを書きました。

今回は父 / 野生司義章について触れてみたいと思います。

父は大正元年生まれ。香雪の長男として台東区谷中で生まれる。上野中学（現上野高校）、一高、東大とエリートコースの学歴を持ちます。一高の学生の時に父のインドでの壁画を書くための仕事に高校を休学して通訳としてインドと一緒に旅立ちました。なかなか出来ないことだと思います。1年余り休学して、日本に帰ります。祖父は足掛け5年インドで壁画完成まで滞りました。

私の母 / ヤヤ子とは父の東大の学生の頃、日本で「日米学生会議」がありました。母はハワイ生まれの日系2世です。当時ハワイ大学の学生で、船に乗って日本に来たのです。そこで、日米学生会議の議長をしていた父と知り合い、その後、文通をしながら結婚に至るのです。

母の英語は非常にきれいな発音でした（もちろんネイティブスピーカーです）。ペンマンシップの英語の筆記体も大変上手で、そのような大会で優勝したことがあるようです。

私が小さい頃は、家の中では、私に聞かれない話は英語で話していました。新聞もジャパントゥタイムスが毎日届けられます。

父の東京大学建築学科の卒業論文は、「ワルター・グロピウス」、「リチャード・ノイトラ」、「SOM」という海外の建築家の研究でした。

「ワルター・グロピウス」はドイツの美術と建築に関する総合的な建築を行った学校「バウハウス」の創始者です。彼が日本に来日した時の写真は、ガバナー公式訪問の時に皆様にお見せしたと思います。グロピウス夫妻、丹下健三夫妻、両親と私で、一緒に撮った写真が残っております。

今でも残っております父の卒業論文では、グロピウスからの直筆の手紙が

残っております。論文をまとめるのに、手紙でやり取りしていたようです。当時は、手紙は船便だと思いますので大変だったでしょう。

「リチャード・ノイトラ」は、オーストリアのユダヤ系ドイツ人でアメリカの建築家です。フラットルーフ（平らな屋根）のモダンな高級住宅を多数設計しております。今でも通用するような家です。設計料が工事費の100%取っていたと言われていています。羨ましい限りです。

父はフラットルーフ以外の建物作らないというのが口癖でした。私の育った家もご多分に漏れず、フラットルーフでした。屋根の水勾配が無いのです。真っ平なら水は溜まらないという理屈です。屋根の四隅に縦樋があり、平ならどこかの縦樋に流れるというのです。そして、その縦樋にはコックが付いていまして、屋根に水が溜められるのです。夏の暑いときには、水を溜めて断熱にするのです。そのような家で私は育ちました。

「SOM」はスキッドモア、オーウイングス、アンド、メリル」という3人の名前を冠したアメリカの設計事務所です。世界で最大の組織設計事務所です。構造、設備、積算、監理すべてのスタッフを揃えております。

父はそのような組織事務所に憧れておりました。父の事



ワルター・グロピウス夫妻、丹下健三夫妻、両親と私。

務所もすべてのスタッフを揃えた組織事務所でした。最盛期には150人程のスタッフを抱えた事務所です。おそらく当時は日本で10本の指に入る事務所だったと思います。

しかしながら、東大の安田講堂事件の時です。東大の教授が我が家に来まして、ある大学院生の学生を雇ってほしいというのです。その時に安田講堂に立てこもった人間と聞いているはずで

その人が事務所に入って、間もなく、総評一般系の労働組合を組織するのです。

事務所には一年中赤旗が柵引くようになりました。施主のところに出かけては、訴えかけるのです。そうすれば、当然仕事は来なくなります。そのようなことが5年間続きました。会社は潰れます。

私は野生司建築設計事務所には勤めていませんでしたが、私の自宅にも赤旗を掲げてやって参ります。私の勤めていた会社（松田平田坂本設計事務所）にも、その組合は参ります。松田平田は「日本銀行本店」を設計した大手の事務所です。その時の坂本先生は組合とも話を十分に下さり、松田平田に赤旗は掲げませんでした。しかしながら、私は会社に迷惑をかけていると思い、退職願を出しました。しかし、それは受理されず、当時の役員が私をかばって下さいました。

そのようなことがあり、金輪際、独立はしない。と思っておりました。私は松田平田に生涯いるつもりでした。幸いに、自分で言うのは何なのですが、事務所では最右翼にいたと思います。それから10年ほどたち、私の部下でI君が、野生司さんが独立するならついて行くというのです。

私も喉元過ぎれば熱さを忘れのごとく、丁度40歳も過ぎ、仕事には油が乗っていました。大型プロジェクトを何軒も抱え、忙しい毎日でした。I君を金沢八景の「横浜市立大学附属病院」の現場に常駐させておりました。このプロジェクトは病院設計で有名なI建築研究所とのJV（共同企業体）の仕事です。デザインを松田平田、機能をI建築研究所で行っていました。この仕事は総工費600億円の仕事で、横浜市が一度に発注する仕事では、今までに最高金額の仕事です。この仕事が竣工した時に、事務所を辞めて、この時のI研究所のスタッフと共に独立を致しました。

今の事務所はそのような訳で、旧野生司事務所を引き継いだものではありません。それでも、義光君が独立したならと、旧野生司事務所の方に方々が、私に仕事を発注してくれたのです。旧野生司事務所の方々はクライアントのところに入った人も多く、例えば、「伊藤忠商事」、「森ビル」等に建築、構造、設備、電気、積算、監理とワンセットで入り、その会社のキーマンになっておりました。そのような形で、バブルが弾けた後でしたが、私の事務所は順調な

滑り出しを致しました。それも父のおかげと思っております。

新国立競技場（隈研吾設計）が外苑に竣工致しましたが、その隣に、国立競技場より背の高いマンションがあります。「The Court 神宮外苑」です。このマンションは1964年の東京オリンピックの時に「プレスマンセンター」として設計され、



The Court 神宮外苑

その後、日本住宅公団によって分譲されたマンション「外苑ハウス」です。この設計者は父・野生司義章で今回、建て替えて容積が約3.75倍に増えた物件です。この事業者をコンペで選び、その審査委員長を私が務めました。その後、建替組合の顧問として関わりました。昨年竣工しましたが、設計から工事まで約5年間かかったと思います。父の設計した建物が新しく生まれ変わることに関れたことは感無量であります。

その頃（1965年）に、和歌山県白浜町に「南方熊楠記念館」の建物が竣工しました。この建物も父の設計ですが、一昨年（2019年）に「国の有形文化財」に指定されたのです。



南方熊楠記念館

戦後の建築家が設計し、50年ほどの前の建物が指定されることは大変稀なことです。ほとんどの指定された建物は明治、大正、昭和前期の建物です。このことは、息子としては大変うれしい限りです。

このようなことをガバナー月信に書いて良かったとか、良く解りま

せんが、ある方から、祖父のことを書いたのだから、父親のことも書けと言われましたので、これが最後かなと思ひまして、書かせて頂きました。ありがとうございました。

## 2020～21年度 地区大会が開催されました

4月7日～8日 ホテルニューオータニ



いつもは2,000人以上のロータリアンが埋め尽くすホテルニューオータニの間も、600人ほどの出席者でゆったりと着席。万全の感染対策で本会議を行った。

新型コロナウイルス感染症対策として、出席者を約600名（各クラブ3名程度）に限定して8日の本会議が開催された。写真でご覧の通りたっぷりの距離を取った会場の席配置。RI会長代理は、今年度日本からただ一人のRI理事、2750地区パストガバナーの辰野克彦氏（写真左）。



基調講演は東京都知事小池百合子氏。感染拡大に対応するため、急遽オンラインでの講演となった。記念品贈呈は谷一地区幹事が都庁に向いて贈呈。その様子もオンラインで会場で放映。



## 第2回学友の集い開催

4月10日 船堀タワーホール



青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ロータリー財団奨学生、米山奨学生の修了者が、年代を超えて一堂に会する集まり、「学友の集い」を、地区青少年奉仕委員会と昨年新設されたばかりの当地区、ローターアクト学会の共催で、4月10日に江戸川区の船堀タワーホールで開催しました。感染防止に万全の注意を払いながら会場出席者約90名、オンライン参加者40名を得ることができました。野生司ガバナー、若林エレクトもオンライン参加。メインプログラムは米山学友による演奏、踊り、歌唱のパフォーマンスが行われ、2時間半ほどの集いでしたが、来場された方からは「楽しかった、次の開催が楽しみ」との言葉をいただきました。

## ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

3回 藤井 公博 (東京ワセダ)

1回 飯田 修一 (東京西北)

鈴木 祥太 (東京ワセダ)

中島 弘人 (東京ワセダ)

ポール・ハリス・フェロー

永嶋 康雄 (東京西北)

岡村 幸彦 (東京西北)

米山功労者・メジャードナー

12回 後関 和之 (東京江戸川)

米山功労者・マルチプル

9回 當麻 誠 (東京東村山)

3回 片岡 荘子 (東京ワセダ)

米山功労者

油井 健一 (東京臨海西)

諸見里 和子 (コザ)

2021年3月31日分まで 敬称略 順不同

## [哀悼] 謹んで哀悼の意を表します

東京セントラルパークロータリークラブ

ふるうち かめよし  
古内 亀義 会員

逝去日 2021年1月17日 享年 80

入会日 2006年11月7日

Torus Corporation 株式会社 代表取締役

ロータリー財団メジャードナー

ポール・ハリス・ソサエティー

ベネファクター

米山功労者メジャードナー



## 会員数報告

2020年7月1日 クラブ数	70 RC
2020年7月1日 会員数	2,868 名
(内女性)	203 名
2021年2月末 クラブ数	70 RC
2021年2月末 会員数	2,920 名
(内女性)	218 名
2020-21 年度入会者	172 名
2020-21 年度退会者	120 名
2020-21 年度会員増減数	52 名